

名古屋、関西、九州、札幌会場の追加開催が決定！

## 経営課題解決シンポジウム PREMIUM

# 「2025年の崖」に立ち向かう ～経営戦略としてのDX推進、その現状と課題～

### 《名古屋会場》

会 期：2019年5月22日（水） or 23日（木）  
会 場：吹上ホール  
※名古屋デジタルイノベーション 2019内で開催

### 《関西会場》

会 期：2019年5月30日（木） or 31日（金）  
会 場：グランフロント大阪  
※関西デジタルイノベーション 2019内で開催

### 《九州会場》

会 期：2019年6月18日（火） or 19日（水）  
会 場：福岡国際会議場  
※九州デジタルイノベーション 2019内で開催

### 《札幌会場》

会 期：2019年7月18日（木） or 19日（金）  
会 場：札幌コンベンションセンター  
※札幌デジタルイノベーション 2019内で開催

# 開催趣旨

2025年までにシステム刷新を集中的に推進し、デジタルトランスフォーメーション(DX)に乗り出すべき。さもないと日本企業は生き残れない——。

経済産業省が2018年9月に公表した「DXレポート」では衝撃的な提言がなされた。

デジタル技術を駆使した新たなビジネスモデルを展開する新規参入者によるゲームチェンジが進行する中、多くの企業はDXの重要性を認識しつつも踏み出せずにいる。その大きな理由は既存システム、特にレガシー化した基幹システムの維持管理にIT予算の80%が割かれてしまっていること。戦略的なIT投資に資金や人材を振り向けられていない。

DXレポートでは、2025年に国内のIT人材が40万人規模で不足すること、構築から21年以上を経過する基幹系システムが全体の6割を超過することを指摘。2025年以降、最大で年間12兆円の経済損失が発生すると警鐘を鳴らす。DXも進まないため、日本企業は国際競争力を失う。

こうした最悪のシナリオ「2025年の崖」を克服し、持続的成長を実現するために、今何をすべきか。本カンファレンスでは、経営層、経営企画部門や事業部門、情報システム部門のリーダーに、「DXレポート」が示す“今そこにある危機”への正確な理解を促すとともに、レガシーシステムからの脱却やDX推進のポイントなど、具体的な方策について議論します。

日経BP総研 フェロー 桔梗原 富夫

# 日本産業界に迫る ITシステム 4つの危機

## 2025年の崖

DXレポートで指摘された最悪の将来シナリオ

60%

基幹システムを21年以上稼働している  
企業の割合

43万人

IT人材不足

9割以上

IT予算における保守運用費の割合

最大 12兆円

システムの老朽化に起因するトラブルで  
生じる経済損失

# 集客対象について

対象は、経営層、事業部門リーダー、CIO、ITシステム部門リーダー。  
それぞれの立場で“今そこにある危機”を理解し、立ち向かうためのヒントを提供するセッションを用意。

## For Executive & Business Leaders

「ITシステムの2025年の崖」を喫緊の経営課題として、いち早く認識し正確に理解したいと考えている先見性のある経営者層と経営企画部門、事業部門のリーダー層へのメッセージ。

### 【想定来場者】

★危機を乗り越えるために先手のIT投資を検討しているリーダー層

 日経ビジネス

## For CIO & IT Professional

「ITシステムの2025年の崖」への対策の中核を担い、危機と乗り越えるための原動力となるCIO、IT部門のリーダー層、技術者へのメッセージ。

### 【想定来場者】

★危機を乗り越えるための有効なソリューションやパートナーを求めるIT担当者  
★対策予算獲得のための理論武装の機会を求めるシステム担当者

日経  XTECH

# 開催概要

名 称 経営課題解決シンポジウム PREMIUM

「2025年の崖」に立ち向かう ～経営戦略としてのDX推進、その現状と課題～

会期、会場 《名古屋会場》会期:2019年5月22日(水)or 23日(木)、会場:吹上ホール

《関西会場》会期:2019年5月30日(木)or 31日(金)、会場:グランフロント大阪

《九州会場》会期:2019年6月18日(火)or 19日(水)、会場:福岡国際会議場

《札幌会場》会期:2019年7月18日(木)or 19日(金)、会場:札幌コンベンションセンター

主 催 日経BP社

協 力 日経BP総研

受講料 無料(事前登録制)

来場者数 名古屋、関西会場:終日300名(予定)

九州、札幌会場:終日200名(予定)

受講対象 企業の経営層、経営企画、営業/マーケティング、人事/総務/経理/財務、

設計・製造、情報システム部門の管理職、担当者など

# デジタルイノベーション 2019概要

当セミナーはデジタルイノベーション 2019会場内で開催します。

## 《名古屋デジタルイノベーション 2019》

会 期：2019年5月22日（水）～ 23日（木）

会 場：吹上ホール

開催イベント：

Cloud Days 2019 名古屋

Security 2019 名古屋

ブロックチェーン WORLD 2019 名古屋

IoT Solution 2019 名古屋

ビジネスAI 2019 名古屋

働き方改革 2019 名古屋

デジタルものづくり 夏 2019 名古屋

セールス&マーケティング 2019 名古屋

リテールテック 2019 名古屋

## 《九州デジタルイノベーション 2019》

会 期：2019年6月18日（火）～ 19日（水）

会 場：福岡国際会議場

開催イベント：

Cloud Days 2019 九州

Security 2019 九州

ブロックチェーン WORLD 2019 九州

IoT Solution 2019 九州

ビジネスAI 2019 九州

働き方改革 2019 九州

デジタルものづくり 夏 2019 九州

インバウンド/観光ソリューション 2019 九州

セールス&マーケティング 2019 九州

リテールテック 2019 九州

## 《関西デジタルイノベーション 2019》

会 期：2019年5月30日（木）～ 31日（金）

会 場：グランフロント大阪

開催イベント：

Cloud Days 2019 関西

Security 2019 関西

ブロックチェーン WORLD 2019 関西

IoT Solution 2019 関西

ビジネスAI 2019 関西

働き方改革 2019 関西

デジタルものづくり 夏 2019 関西

インバウンド/観光ソリューション 2019 関西

セールス&マーケティング 2019 関西

リテールテック 2019 関西

フィールドサービス・ソリューション 2019 関西

## 《札幌デジタルイノベーション 2019》

会 期：2019年7月18日（木）～ 19日（金）

会 場：札幌コンベンションセンター

開催イベント：

Cloud Days 2019 札幌

Security 2019 札幌

ブロックチェーン WORLD 2019 札幌

IoT Solution 2019 札幌

ビジネスAI 2019 札幌

働き方改革 2019札幌

インバウンド/観光ソリューション 2019札幌

セールス&マーケティング 2019 札幌

リテールテック 2019 札幌



# 経営層、経営企画、事業部門、業務部門、IT部門のリーダー層 を中心に約200～300名のビジネスパーソンを集客予定



# プログラム タイムテーブル(予定)

**名古屋、関西：150名規模**

**九州、札幌：100名規模**

<b>10:00-10:40</b>	<b>オープニングキーノート</b>
<b>11:00-11:40</b>	<b>協賛講演 1</b>
<b>12:00-12:40</b>	<b>協賛講演 2</b>
<b>13:00-13:40</b>	<b>協賛講演 3</b>
<b>14:00-14:40</b>	<b>協賛講演 4</b>
<b>15:00-15:40</b>	<b>協賛講演 5</b>
<b>16:00-16:40</b>	<b>特別講演</b>

※最小実施枠数：2枠

※2019年3月現在のプログラム計画です。セミナープログラムの内容・構成・講演枠数は検討中のため変更する場合がございます。



## 協賛メニュー（名古屋、関西）

### ご協賛料金 200万円（税別）

- 講演枠（150名規模の会場、40分間）1枠提供
- 全登録者リスト提供（想定リスト提供数 300件前後）
- イベント会場での社名ロゴ掲出
- カタログ等のPR資料を受付にて配付（1点）
- 個別アンケートの実施（任意）

※運営ルールに基づく形にて（別途事務局よりご案内）

## 協賛メニュー（九州、札幌）

### ご協賛料金 150万円（税別）

- 講演枠（100名規模の会場、40分間）1枠提供
- 全登録者リスト提供（想定リスト提供数 200件前後）
- イベント会場での社名ロゴ掲出
- カタログ等のPR資料を受付にて配付（1点）
- 個別アンケートの実施（任意）

※運営ルールに基づく形にて（別途事務局よりご案内）

## 協賛メニュー 一覧

	名古屋、関西会場	九州、札幌会場
協賛料金	200万円	150万円
講演枠	150名規模会場 (40分間)	100名規模会場 (40分間)
リスト提供	全登録者のリスト (想定300件前後)	全登録者のリスト (想定200件前後)
会場でのロゴ掲出	○	
カタログ配布	○	
個別アンケート	○	

表示料金は税別です。

※2019年3月現在の予定であり変更になる場合がございます

# 協賛メニュー セット料金 (名古屋、関西、九州、札幌会場)

セット内容	通常料金	セット料金	
4会場セット (名古屋、関西、九州、札幌)	7,000,000	<b>5,600,000</b>	20%引き
3会場セット (名古屋、関西、九州 or 札幌)	5,500,000	<b>4,675,000</b>	15%引き
3会場セット (名古屋 or 関西、九州、札幌)	5,000,000	<b>4,250,000</b>	15%引き
2会場セット (名古屋、関西)	4,000,000	<b>3,600,000</b>	10%引き
2会場セット (名古屋 or 関西、九州 or 札幌)	3,500,000	<b>3,150,000</b>	10%引き
2会場セット (九州、札幌)	3,000,000	<b>2,700,000</b>	10%引き

表示料金は税別です。

※2019年3月現在の予定であり変更になる場合がございます

# オプション

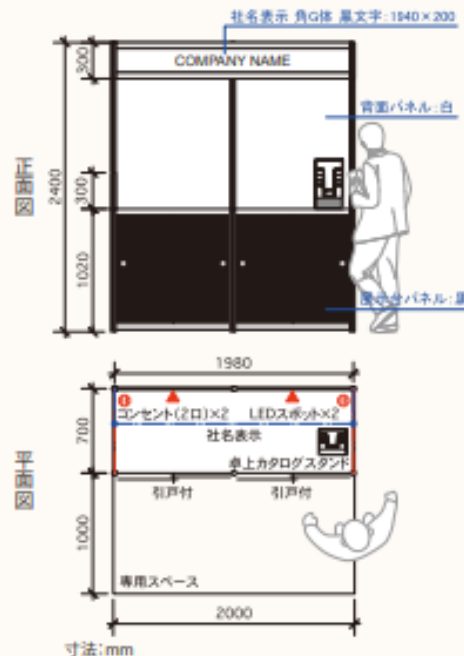
同時開催イベントのデジタルイノベーション 2019の展示ブース出展も可能です。詳細は次ページのお問い合わせ先までお問い合わせください。

## 小間出展プラン

### ■イメージ



(注) 展示台の前にモノは置けません。



1小間一¥400,000 間口2m×奥行1.7m

(消費税別) (展示台:幅2m×奥行0.7m×高さ1m)

### ターンキーブース (1小間) の仕様

社名表示	統一書体(角ゴシック) / W1950×H200 ※ロゴ使用の場合は別途15,000円(税別)がかかります。 ※プラチナ/ゴールドスポンサーはロゴの使用を含みます。
バックパネル	バックパネル(グレー)
展示台	W2000×D700×H1000(収納付)
卓上カタログスタンド	A4サイズ(3段)×1ヶ
照明	LEDスポット10W×2灯
コンセント	2口コンセント×2ヶ(合計500Wまで)

※PC、モニタは、レンタルまたはお持ち込みでお願いします。  
説明パネルの取り付けはサポートします。

※ブース追加装飾をご希望の場合は別途資料をご用意しております。詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

# 今後のスケジュール (予定)

2019年 4月12日(金) ご協賛申込締切

※締切日を過ぎてのお申し込みについては、下記お問い合わせ先までご相談ください。

2019年 4月19日(金) 講演タイトル等の提出締切

2019年 4月22日(火) 告知サイトUP(集客プロモーション開始)

2019年 6月第1週 受講登録者リストご提供(名古屋会場)

2019年 6月第2週 受講登録者リストご提供(関西会場)

2019年 6月第4週 受講登録者リストご提供(九州会場)

2019年 7月第4週 受講登録者リストご提供(札幌会場)

■お問い合わせ先  
日経BP

技術メディア広告部  
E-Mail: c-ad@nikkeibp.co.jp  
TEL 03-6811-8025

イベント企画部  
E-Mail: d-inov@nikkeibp.co.jp  
TEL 03-6811-8083

〒105-8308 東京都港区虎ノ門4丁目3番12号



# 個人情報取り扱いに関するルール

日経BP社では顧客情報の提供にあたり、以下の内容を遵守していただくことを前提といたします。是非、ご確認いただきますようお願い申し上げます。

## 1. 顧客情報の範囲

提供する顧客情報は、「氏名」「勤務先会社名」「勤務先部署名・役職名」「勤務先郵便番号」「勤務先(または自宅)住所」「勤務先(または自宅)電話番号」「勤務先(または自宅)FAX番号」「電子メールアドレス」「業種など」の登録された情報のなかで貴社が希望する項目とします。「業種など」はイベント単位で異なる場合がありますので、事前に担当者までお問い合わせください。

## 2. 顧客情報の提供方法

顧客情報は「日経BP社 リードジェン支援システム」を使用してご提供いたします。データの取得方法などは貴社ご担当者様宛に弊社からメールでご案内いたします。

問い合わせ先:日経BP社 リード・サポートセンター( E-mail:lgsc02@nikkeibp.co.jp )

## 3. 顧客情報の利用目的

提供した顧客情報は、その元となった貴社主催または協賛セミナーの内容に関連した、貴社製品／サービスのご案内に限定してご利用ください。

## 4. 顧客情報の利用方法

提供した顧客情報を元に、最初に顧客に連絡を取る際には、「提供した顧客情報の元となった貴社主催または協賛のイベント名」「貴社名」「貴社の連絡先」「顧客情報の変更・削除および情報提供停止の方法」を必ず明示してください。

## 5. 提供した顧客情報の管理責任について

提供した顧客情報は「個人情報の保護に関する法律」などに基づいて貴社の責任において管理・運用願います。万が一、事故などで顧客または貴社に損害が生じた場合、弊社では一切の責任を負いかねます。